

【2月18日（月）朝礼の話】

＜山内賞授与式＞

高学年のみなさんは「あー山内賞ね！」と思った子もいると思いますが、逆に「山内賞ってなに？」と思った子もいると思います。先生も今年から草平小学校へ来たので、山内賞について調べてみましたので説明します。

今から142年前、1877（明治10）年に佐織町草平新田江之田（今の池西）に「山内慶次（やまうち けいじ）」さんという方が生まれました。

そのころの時代は、農家の子どもはその働き手としてあてにされ、男の子は田畑の力仕事、女の子は弟や妹、赤ちゃんのお世話をしている、学校へはお金持ちの一部の人しか通えませんでした。やっと各地に小さな小学校のようなところで、勉強をすることができるようになり始めたところです。しかし、農業など家の都合で学校へ行けない日も多く、落ち着いて勉強できる環境ではなかったようです。

そのような環境の中で、山内さんは草平小学校に通い、苦勞して勉強して卒業しました。その後30歳の時にメキシコへ、さらにアメリカのロスアンゼルスに移住し、一生懸命努力をして、自分で農業経営をするまでになり、成功を収めることができました。その結果、たくさんのお金を手にすることができました。

そして、生活が苦しく十分に勉強ができなかった自分自身の小学校時代のことを思い、「自分が卒業した草平小学校の子どもたちが、一生懸命に勉強できる環境にしたい」と、1960（昭和35）年山内さんが83歳の時から1967（昭和42）年89歳でこの世を去るまでの8年間にわたり、たくさんのお金をこの草平小学校に寄付されたそうです。その寄付金をもとに、この『山内賞』がつくられました。

また、山内さん87歳の年の1965（昭和40）年1月に、その偉業をたたえ、池西地区のみなさんが感謝の気持ちを形に残すために、池西地区に記念碑が建てられたそうです。池西の通学団の子たちは、知っていますね？

山内さんが亡くなってから52年が経ちましたが、今もその寄付金から、毎年草平小学校を卒業する6年生に、鉛筆が贈られています。すごいことですね。

そんな山内さんの想いの詰まった鉛筆を、来月卒業する6年生に贈ります。大切にしてくださいね。

また、このように地域のために尽くしてくれた偉人がいる草平小学校を誇りに思い、みんなも一生懸命勉強に運動に励んでほしいと思います。

池西地区の6年生の人たちは、3月の下校時に、山内さんの記念碑を掃除し、お花を供える活動をします。池西地区の先輩からの伝統を引き継いで、よろしく願います。

＜朝礼＞

2月も後半です。1年の締めくくりがしっかりできるように、一日一日を大切にしてお過ごししょう。

先日、平成31年度の児童会役員選挙がありました。とてもたくさんの方の立候補があり、4・5年生のやる気を感じました。また、1分間と限られた時間の演説でしたが、その中に「どんな草平小学校にしたいのか」「そのために大切な一票をお願いします」という内容がきちんと入っていて、どの立候補者の演説も素晴らしいものでした。

また、その20人の立候補者の演説を聞いていた3～5年生の聞く態度も素晴らしかったです。5年生からは、6年生から草平小学校のリーダーを受け継ぐ準備が整ったことが、4年生からは4月から高学年としてがんばろうという気持ちが伝わりました。来年度の草平小学校がとても楽しみです。

今日は吉田先生のお話を聞きます。以上で先生のお話を終わります。